

(三) 宣 言

待ちに待つた我等の目メーデーが来た年から年中矛盾だらけの小作制度の下に虐め抜かれてゐる我々耕作農民が都督で眞無になつて働く労働者と共に虐けられし人々の固い團結の偉力を遺憾なく身を以て彼等地主や資本家に示す事の出来る我等の祭日は此の五月一日を措いて他にほないのだ瀬州事變を契機として澎湃と起て反動の波は非常時の合言葉によつて醒めんとする我々農民を又しても欺き眠むらさんとして居るのだ、我利以外何物も念頭にない悪地主に至つては出征軍人の留守を幸として土地取上げを行つて居る非國民的な奴もあるのだ、政府は常に非常時を突破するには國民の協力一致が肝要であると言つて居る眞の協力一致を實現せんとするには先づ第一に我々勤勞大衆の生活を保證しなくては幾萬の政策を揚ぐるも何等見るべき効果はあり得ない。それは齒餅に等しいものである此の

意味に於て非常時を逆用して土地取上げや其他の方面によつて小作人を虐める様な地主には我等は一丸となつて斷乎脅威しなくてはならない我々は政府並に一般大衆に訴へる農村經濟の全面的行きつまりを打開するには都市に於ける解放運動と併行して耕作權確保の完全小作法を制定し肥料農具資金の國家補給をなさしめなくてはならない先づ我々國民大衆の生活を安定せしめよとして其の上こそ協力も平和も實現するのだ我等は此の第十六回メーデーにあたり團結の力を新しくすると共に尙將來の闘争を固く契ふものである。

全國農民組合福岡聯合會萬歲

右 宣 言 す

昭和十年五月一日